

冬の自然観察園

NO. 2
令和6年1月号 発行
野川公園緑の愛護
ボランティアの会 (0116)

『野草』冬越しの姿観察

自然観察園は冬景色一色ですが、眼を地表に転じると既にあちこちに若葉（幼苗）が出て春の訪れを待ちわびています

野草達は、この厳しい冬の寒さを乗り切るため、どのような姿で冬越しをしているのか観察してみましょう

【冬越しの仕方】

- ① 種子……殆んどの1年草
- ② 地下茎、塊根……殆んどの多年草はこの姿
地上部は枯れても、地中で休眠する茎は養分を蓄えて春の芽吹きを待っている
- ③ 若葉（幼苗）……越年草、二年草、多年草で、春から秋に芽を出し幼苗のまま冬を越す、この冬越しの姿を**ロゼット**と呼んでいます

【ロゼット】

野草（幼苗）の冬越しの姿を言う

幼苗が冬季寒さから身を守るため、根生葉を地表に張りつくように放射状にひろげて冬越しをする状態をバラの花形という（バラはラテン語でROSE）

この装飾紋様を西洋で「ロゼット」と呼んだのが、始まりと言われています

長い冬の間ロゼットの状態で、太陽の光を眼一杯浴び光合成の働きにより根茎に養分を蓄えていきます

ロゼットの型

- ① 真性ロゼット種……生涯ロゼットで過ごす

冬季根生葉が地面に張りつくように、放射状に広がり暖かくなると次第に起き上がる茎は花茎だけで葉をつけない

6カントウタンポポ・25オオバコ・セイヨウタンポポ



ロゼット種

- ② 季節ロゼット種……過酷な時期だけロゼットで過ごす

厳冬期ロゼット葉（根生葉）で過ごし、未だ周辺に競合する植物が少ない春先から根生葉の中心より茎を伸ばし葉をつける
花が咲く頃になっても、根生葉は残る

1キュウリグサ・3ハルジオン・11ノハラアザミ・12オニタビラコ

17タネツケバナ・21ヤブタビラコ・ハナイバナ・ハハコグサ



季節ロゼット種

* 根生葉（こんせいよう）とは、根ぎわの短い地上茎から出ている葉

- ③ 一時ロゼット種……生長の一時期だけその性質をもつ

冬季の競合する植物が少ない時期ロゼットで過ごす、高い位置に葉を展開する植物が生え始めると、自らも茎を伸ばし高さ競争に参加する臨機応変な戦略を持つ
背丈が高くなり花が咲く頃になると、根生葉は枯れてなくなる

2キツネアザミ・4ヒメジョオン・5メハジキ・7オニノゲシ

8ウツボグサ・9アキノタムラソウ・10キランソウ・13タカアザミ

14ミゾコウジュ・15トネアザミ・16クサノオウ・18ムラサキケマン

19エゾノギシギシ・20ギシギシ・22コウゾリナ・23スイバ

24ヤブタバコ・26ダイコンソウ・オオマツヨイグサ



一時ロゼット種

- ④ その他若葉が目につく野草 ウマノアシガタ・オドリコソウ・カテンソウ
・ケキツネノボタン・ヒイラギソウ・ヒメウズ・ヤブヘビイチゴ

- ⑤ 咲いている花 イヌノフグリ・オオジシバリ・スイセン・ソシンロウバイ
・ホトケノザ・ヤブツバキ白・ロウバイ

★和名頭部の番号は、園内写真掲示板と位置確認竹杭の番号に連動しております